

一般質問通告一覧表

(令和7年6月定例会)

通 告 番 号	氏 名	一般質問登壇日 及び予定時刻
通告1番	菊池美知男	6月16日(月) 10:00~11:00
通告2番	星恵子	6月16日(月) 11:00~12:00
通告3番	角田保寿	6月16日(月) 13:00~14:00
通告4番	乾初美	6月16日(月) 14:00~15:00
通告5番	瀬谷寿一	6月16日(月) 15:00~16:00
通告6番	小木芳郎	6月17日(火) 10:00~11:00
通告7番	水野谷常子	6月17日(火) 11:00~12:00
通告8番	瀬谷京子	6月17日(火) 13:00~14:00



令和7年第4回石川町議会定例会一般質問通告書

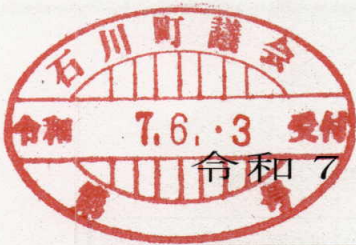
通告 1 番		令和7年6月3日 午前10時20分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和7年6月3日 質問者 7 番議員 菊池 美知男 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 質の高い住民サービスを提供するための人材育成について	住民は、日々様々な行政サービスを享受した中で生活している。職員が様々な業務や、住民に対し、質の高いサービスを提供するために町は、日頃から職員に対する傾聴のほか、適正な労務管理や人事管理など、人材育成に対する対応を切れ間なく進める事が肝要であると考えている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 次年度における採用予定人員について (2) 人事異動を行う目的と、本人からの希望などヒアリング等の実施について (3) 人事評価の反映状況について (4) 職員のスキルアップのために町で実施している事業について (5) 今後の職場環境の改善方針について (6) 今年度における会計年度職員数、配置状況などの現状について	町長 所管課長
2. 健康長寿のための町の取り組みについて	健康長寿は、住民誰もが願うところである。石川町第6次総合計画では「自分の健康は自分で守る」を基本に健康寿命の延伸を目指すところがあるが、行政が先導した中で各種施策に取り組むことが重要であると考えている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 運動習慣を身に付けさせるための取り組みについて (2) 食事の栄養バランスについて (3) 適正な量の飲酒、喫煙について (4) 身体や心の病気を早期に発見し早期治療に結びつけるための取り組みについて	町長 所管課長

3. 高齢者、弱者に 寄り添った福祉施 策について	近年の物価高騰に対し、年金生活者や低所得世帯等、生活困窮世帯の実態にあった町の支援策が必要であるとする。 そこで、次の点について伺う。 (1) 近年の物価高騰に対する低所得者等への支援策について	町長 所管課長
--	--	--------------------



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 2 番		令和 7 年 6 月 3 日 午前 10 時 50 分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和 7 年 6 月 3 日 質問者 3 番議員 星 恵子 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 「第 1 期石川町子ども計画」の実効化に向けた取り組みについて	「第 1 期石川町子ども計画」が策定された。基本目標 1 には、「子どもや若者の、権利尊重の普及啓発や意見表明と社会参画の推進」が述べられている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 子どもの権利条例制定の見通しについて (2) こどもの意見表明会議の実施について	町長 教育長 所管課長
2. 石川町の魅力化や知名度アップに向けた取り組みについて	本町は今年、町村合併 70 年を迎え 10 月には記念式典が予定されている。また、道の駅開設に向け造成工事も開始される。今年度は、町民の連帯意識や本町の知名度をアップさせ魅力化を図るよい機会になると考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 「石川町民の歌」の扱いについて (2) 知名度アップに向けた取り組みについて (3) 町のホームページの充実について	町長 所管課長
3. 本町の環境整備と保全について	今年も桜のシーズンには多くの方が来町した。しかし、磐城石川駅からまちなかにつながる歩道の痛みが激しい箇所があり、改善を行うなど整備が必要ではないかと考える。 また、犬の散歩などに対し、排泄物を放置したままにする飼い主がおり、モラルや衛生管理が懸念されるため、ペットの望ましい飼い方への啓発が必要だと考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 旧町内の歩道整備について (2) ペットの飼い方の啓発について	町長 所管課長



令和7年第4回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 3 番

令和7年6月3日 午前11時5分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和7年6月3日

質問者 6 番議員 角田 保寿

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 副町長就任による 今後の町政運営につ いて	人口減少や少子高齢化など本町を取り巻く課題は、非常に深刻であり、厳しい状況といえる。こうした状況の中で、4月より平山副町長が就任した。 平山副町長は、県政において豊富な勤務経験と実績を有し、その手腕と知識を活かしていただくべく、町長が指名し就任された。 そこで、次の点について伺う。 (1) 副町長に期待する役割について	町長 所管課長
2. 町税等の未収額に ついて	令和5年度決算における町税及び国民健康保険税の未収額は、あわせて1億3千万円あまりと非常に大きな額となっている。これが収納されていれば、より多くの事業が可能となり、国民健康保険財政の安定にもつながると考える。 また、多くの町民はきちんと納税しており、公平性の観点からも、適正な課税と積極的な徴収が求められる。 そこで、次の点について伺う。 (1) 1億3千万円あまりが未収となった要因について (2) 多額で長期間にわたる滞納者への対応状況について	町長 所管課長

3. 母畑レークサイドセンターについて	母畑レークサイドセンターは、母畑ダム完成後、多目的施設として利用されてきた。しかしながら、建築から50年が経過し、施設の老朽化が進み、現状は非常に厳しい状況であるとする。 そこで、次の点について伺う。 (1) 主に食堂として利用していた、休業中の建物の利用状況について (2) 母畑湖生活環境保全林の管理体制について (3) 遊歩道、バンガロー、キャンプ場の整備状況について	町長 所管課長
----------------------------	--	--------------------



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 4 番		令和 7 年 6 月 3 日 午前 11 時 20 分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。 令和 7 年 6 月 3 日 質問者 13 番議員 乾 初美 石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 特産品開発事業について	町は、令和 3 年度より特産品開発事業に取り組んでいるが、事業費のほとんどが特産品開発支援委託料である。 令和 3 年度当初予算445万円の全体事業費に対し委託料が407万円、令和 4 年度が1,135万円に対し902万円、令和 5 年度が1,196万円に対し927万円、令和 6 年度が317万円に対し297万円、令和 7 年度においてもほぼ同額で計上されており、本事業は今年で5年目を迎える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 特産品開発事業の進捗と実績について (2) 特産品開発事業の課題と今後の方針について	町長 所管課長
2. ひきこもり支援について	町は、ひきこもり支援として、毎年支援を事業所に委託している。委託先では、居場所の提供、各種プログラムへの参加などを通して、社会性を身につけ、就労意欲を高める取り組みが行われているが、町独自の支援が見えない。 そこで、次の点について伺う。 (1) 自治体によるひきこもり状態にある方の実態調査について (2) ユースプレイス自立支援事業の利用状況について (3) 町独自の支援策について	町長 教育長 所管課長

3. 自殺対策について	厚生労働省の発表によると、去年1年間に自殺した人は全体で20,320人。前の年に比べ1,517人減少したものの、小・中・高生は529人にのぼり、過去最多となった。自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題とされている。町は、様々な問題を抱える子どもたちをどう支援していくのか。取り組みが急がれる。 そこで、次の点について伺う。 (1) 令和5年度の自殺対策事業について、当初予算に対し決算額が低い理由は (2) 過去5年間の本町における自殺者数の推移について (3) 自殺対策事業の現状と課題について (4) 町独自の支援策について	町長 教育長 所管課長
--------------------	--	----------------------------



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 5 番

令和 7 年 6 月 4 日 午前 8 時 4 5 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 6 月 4 日

質問者 9 番議員 瀬谷 寿一

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. これからの桜の町石川をどのように創るのか	石川町は、「いしかわ桜谷」「今出川、北須川の二千本の桜」として、桜を大きくアピールしているが、近年、桜木の老朽化や河川改修による伐採が進んでいるが、現状維持のまま先人の遺産を利用しているだけのように見える。よって、観光基本計画を策定するにあたっては、新たな桜の町戦略が必要ではないかと考える。 そこで、次の点について伺う。 (1) 今年の桜祭りは、桜の開花時期と会わなかったが、桜祭りを実施する目的、考え方について (2) 桜の古木を守る対策、特に高田桜の対策について (3) 石川町の桜に関する調査について (4) 新たな桜戦略が必要と思われるが、新たな観光基本計画での考えについて	町長 教育長 所管課長
2. 天然記念物の文化財指定について	現在の石川町の文化財の指定状況は24件で、内、町天然記念物の指定は1件である。 本町には、貴重な動植物、鉱物、地質、地形等、天然記念物に値する資源が多数あると思うが、それらに対しても、町民の誇りとして、保存、サポートすべきと考える。 そこで、次のことを伺う。 (1) これまで天然記念物の指定が少なかったその理由について (2) 町文化財指定の考え方と天然記念物指定までの手順及び課題について	教育長 所管課長



令和7年第4回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 6 番		令和7年6月4日 午前9時20分 受付
次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。		
令和7年6月4日		
質問者 10 番議員 小木 芳郎		
石川町議会議長 近内 雅洋 殿		
件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 農業振興について	町内の農業従事者の高齢化、後継者不足、そして気候変動や資材高騰による経営圧迫など、農業を取り巻く課題は年々深刻化している。石川町においても、基幹産業である農業の持続可能性を確保することが急務である。 町の現状と対応策について伺う。 (1) 農業従事者の高齢化と担い手不足への対応と対策について (2) 新規就農支援や移住促進など、担い手を確保するための町の取り組みについて (3) 近隣自治体との連携による広域的な担い手支援の取り組みについて (4) 肥料・燃料・資材等の価格高騰に対する支援策の現状と、今後の対策方針について (5) 農業所得向上のための高付加価値作物の導入支援やブランド化戦略について (6) 異常気象や自然災害に対するリスク管理体制や農業保険の加入率について (7) 若者や女性の農業参入を促進するための研修、施設整備、起業支援等施策について (8) 地元小中学校と連携した農業教育や食育活動の現状と、農業への関心を高めるための取り組みについて	町長 教育長 所管課長

2. 農業構造転換の 取り組みについて	政府は4月、新たな食糧・農業・農村基本計画を閣議決定し、今後5年間において、農業の構造転換を集中的に推し進めることとしているが、計画の実現には、スマート農業技術の導入や農地の大区画化などの基盤整備が重要となる。 町内では、一部で機械のシェアリングによる取り組みも見られるが、本格的な導入と普及には、町の積極的な支援・施策が必要である。 そこで、次の点について伺う。 (1) 通信環境やICT設備などのインフラ整備 びほか、初期投資コスト、人材不足といった課題に対する町の認識について (2) 高齢農家や中山間地域など、導入が難しい地域への対応について	町長 所管課長
--------------------------------	--	--------------------



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 7 番

令和 7 年 6 月 4 日 午前 10 時 20 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 6 月 4 日

質問者 2 番議員 水野谷 常子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 町道の維持補修工事について	地域住民の重要なインフラ環境の一つである生活道路は、自動車、徒歩、自転車など、様々な利用がされており、特に身近な道路である町道の維持補修については、住民の安全安心を守るうえで、迅速な対応が大切だと考える。しかし、「役場に話してあるが、この道路の補修はどうなっているのだろうか」という質問を受けることがある。 そこで、その対応について伺う。 (1) 令和 7 年度の町道補修工事要望件数と前年度の工事件数について (2) 補修工事の要望を受けた場合の対応について (3) 補修工事に優先順位があるのか (4) 要望に対する町民への説明をどのように行っているのか	町長 所管課長
2. マイナンバーについて	マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平公正な社会を実現するための社会基盤であるが、申請手続きの煩雑さや、今後想定される 2025 年度更新問題など、周知、普及に対する課題が顕在化している。 そこで、次のことを伺う。 (1) 直近におけるの交付状況について (2) 年代別の取得者数及び比率について (3) マイナンバー取得時及び交付後におけるトラブル等相談状況について (4) 今後の推進対策について	町長 所管課長



令和 7 年第 4 回石川町議会定例会一般質問通告書

通告 8 番

令和 7 年 6 月 4 日 午前 11 時 20 分 受付

次の件について、石川町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問の通告をします。

令和 7 年 6 月 4 日

質問者 12 番議員 瀬谷 京子

石川町議会議長 近内 雅洋 殿

件 名	質 問 の 要 旨	答弁を求める者
1. 介護職の人材不足について	厚生労働省の第9期介護保険事業計画では、2026年度に介護職員が全国で約25万人不足し、高齢者がピークとなる2040年度には約57万人が不足すると推計している。 福島県においては、2026年度約2,200人の介護人材が不足すると推計されており、今後必要なサービスが受けられない介護難民の発生が懸念され、働き手の確保が急務である。 また、2024年の訪問介護事業の休廃業は前年の倍以上の23件である。県内の専門学校の福祉科も、定員割れが続いている。 そこで、次の点について伺う。 (1) 本町の介護認定の現状と介護人材の確保等今後の見通しについて (2) 初任者研修助成事業の実績について (3) ケアマネージャーの実態と、支援金制度の現状について (4) 介護職等人材不足の対策について	町長 所管課長
2. 町立学校施設の開放について	「石川町立学校施設の開放に関する規則」では、屋内運動場、屋外運動場、石川小多目的室を、学校教育に支障のない範囲で、地域住民のスポーツ、文化芸術活動のため開放されるとある。 この中で、石川小学校多目的室であるクリスタルホールは、高品質な音響設備を備えており、小・中学校の音楽祭、地域住民の各種コンサートや舞台芸術に供するとのことであるが、利用者からは使い勝手に対する要望も耳にする。	教育長 所管課長

	そこで、クリスタルホールについて伺う。 (1) 学校教育での使用状況について (2) これまでの地域住民の使用状況について	
--	--	--